

2017年2月20日 全7頁

# Indicators Update

## 2017年1月貿易統計

春節の影響もあり、貿易収支は5ヶ月ぶりの赤字

エコノミック・インテリジェンス・チーム  
エコノミスト 岡本 佳佑  
エコノミスト 小林 俊介

### [要約]

- 2017年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+1.3%と、2ヶ月連続で前年を上回ったものの、事前コンセンサス（同+5.0%）は下回った。1月の輸出数量が伸び悩んだ背景には、中華圏の旧正月である春節の影響があったと考えられる。輸出数量の基調を見るには春節の影響を均す必要があることから、2月の結果と併せて判断する必要があるだろう。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比+0.7%と6ヶ月連続の増加、輸出数量は同▲0.9%（季節調整値は大和総研による）と2ヶ月連続の減少となった。米国向けが同▲1.9%、EU向けが同▲2.1%と、いずれも2ヶ月ぶりの減少、アジア向けは同▲3.1%と4ヶ月ぶりの減少であった。品目別では、米国向けでは乗用車の増勢に頭打ち感が見られた一方、ICや音響機器の数量が前月の反動の影響もあって増加に転じた。アジア向けではICや二輪自動車、自動車の部分品の輸出数量が堅調を維持している。
- 先行きの輸出について、海外経済が底堅い成長を続けるなか、緩やかな増加基調が続くとの見方に変わりはない。ただし、トランプ米大統領は就任直後に、TPPからの離脱の決定やNAFTAの再交渉・脱退を表明した点には注意が必要だ。米国経済が極端な保護貿易主義に転じれば、世界の貿易を停滞させる可能性があり、長期的なリスク要因になると考えられる。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2016年								2017年 1月
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
輸出金額	▲11.3	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3
コンセンサス									5.0
DIR予想									3.7
輸入金額	▲13.7	▲18.7	▲24.6	▲17.2	▲16.2	▲16.4	▲8.8	▲2.6	8.5
輸出数量	▲2.4	3.1	▲2.4	0.9	4.7	▲1.4	7.4	8.4	▲0.3
価格	▲9.1	▲10.1	▲11.9	▲10.3	▲11.1	▲9.0	▲7.3	▲2.7	1.6
輸入数量	3.6	0.4	▲4.0	3.8	▲1.5	▲2.5	3.6	3.6	6.2
価格	▲16.7	▲19.1	▲21.5	▲20.2	▲14.9	▲14.3	▲11.9	▲6.0	2.2
貿易収支	▲429	6,907	5,104	▲229	4,932	4,916	1,479	6,404	▲10,869

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 春節の影響もあり、輸出数量の伸び率は鈍化。貿易収支は5ヶ月ぶりの赤字に転落

2017年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+1.3%と、2ヶ月連続で前年を上回ったものの、事前コンセンサス（同+5.0%）は下回った。前年比で見た輸出価格が前月から15ヶ月ぶりにプラスに転じた（12月：同▲2.7%→1月：同+1.6%）ものの、輸出数量は3ヶ月ぶりにマイナスに転じた（12月：同+8.4%→1月：同▲0.3%）。

1月の輸出数量が伸び悩んだ背景には、中華圏の旧正月である春節の影響があったと考えられる。中国の2016年の春節に伴う連休が2月7日～2月13日であったのに対し、2017年は1月27日～2月2日であった。中国向け輸出は春節に伴う連休の直前に減少し始める傾向があり、今年は1月にその影響が表れた可能性が指摘できる。したがって、輸出数量の基調を見るには春節の影響を均す必要があると考えられ、2月の結果と併せて判断する必要があるだろう。

一方、輸入金額は前年比+8.5%と25ヶ月ぶりに前年を上回った。この結果、貿易収支は▲1兆869億円と5ヶ月ぶりの赤字となった。なお、季節調整値で見た貿易収支は1,555億円の黒字であった。

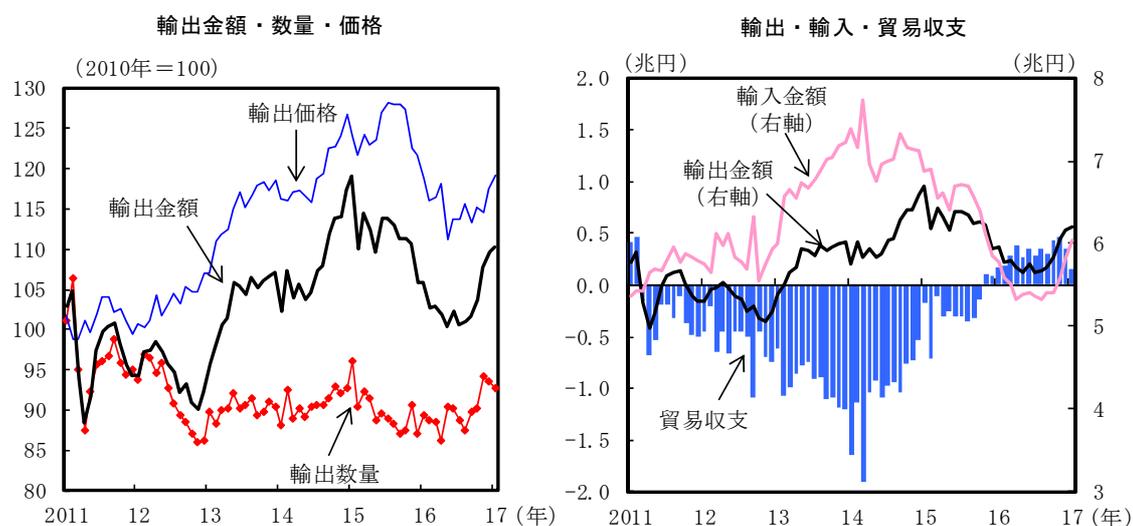
11月中旬以降、対ドル為替相場は大きく円安方向に推移しているが、1月の税関長公示レートは116.48円/ドルと、前年比で見ると依然として2.6%の円高水準にある。しかし、2016年は年明け以降、急速に円高・ドル安が進行したことから、足下の水準が継続すれば、2月にも前年比で見た為替水準が円安に転じるため、輸出価格の押し上げに寄与し始めると考えられる。

### 米国・EU・アジア向けの輸出数量はいずれも前月比で減少

季節調整値で見た輸出金額は前月比+0.7%と6ヶ月連続の増加、輸出数量は同▲0.9%（季節調整値は大和総研による）と2ヶ月連続の減少となった。

輸出数量を地域別に見ると、米国向けが前月比▲1.9%、EU向けが同▲2.1%と、いずれも2ヶ月連続の減少、アジア向けは同▲3.1%と4ヶ月ぶりの減少であった。輸出数量を品目別に見ると、米国向けでは乗用車の増勢に頭打ち感が見られた一方、ICや音響機器の数量が前月の反動の影響もあって増加に転じた。EU向けでは二輪自動車やバス・トラックが増勢を維持した一方、乗用車の輸出には頭打ち感が見られている。アジア向けではICや二輪自動車、自動車の部分品の輸出数量が堅調を維持している。一方で、乗用車やバス・トラックといった製品の輸出が伸び悩んだ。

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、貿易収支 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。  
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

#### 輸入価格が 25 ヶ月ぶりにプラス転換。輸入数量の増加も輸入金額の増加に寄与

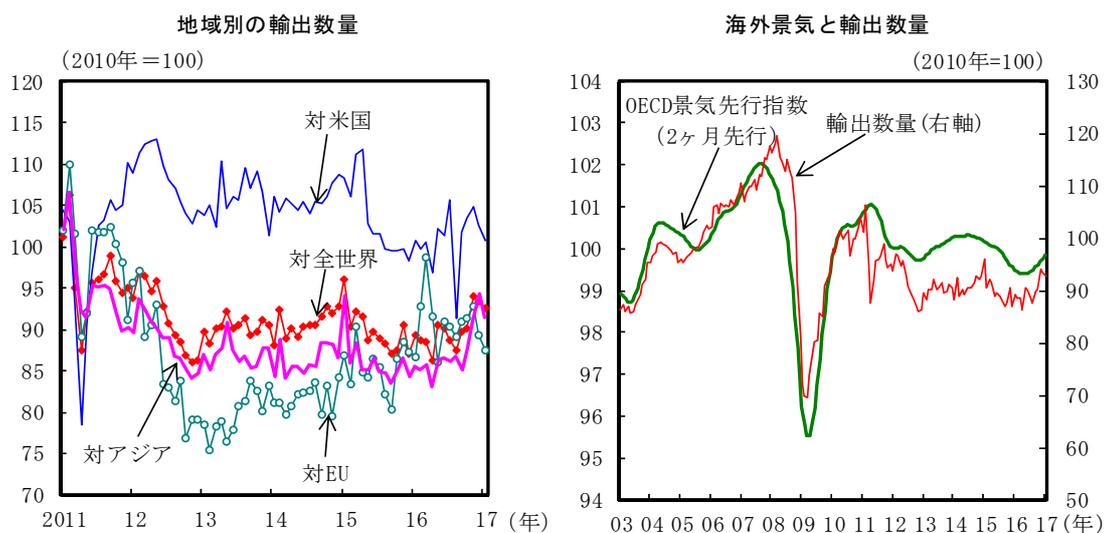
輸入金額を価格要因と数量要因とに分けてみると、輸入価格は前年比+2.2% (11月:同▲6.0%)、輸入数量は同+6.2% (11月:同+3.6%)であった。11月中旬以降、円安・ドル高が進行したことや、原油価格の上昇などが追い風となり、輸入価格は25ヶ月ぶりにプラスに転じた。また、輸入数量の増加も輸入金額の増加に寄与した。

## 先行きは緩やかな増加基調が続くと見込むが、トランプリスクに注意したい

先行きの輸出について、海外経済が底堅い成長を続けるなか、緩やかな増加基調が続くとの見方に変わりはない。米国向け輸出については、米国内の雇用環境の改善等を背景として、消費財等の輸出が底堅く推移するとみられる。欧州経済は、ECBによる量的緩和の効果等により持ち直し基調が続いている。先行きの欧州向け輸出についても消費財を中心として、回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、米国を中心とした先進国の経済・金融動向によって、上下双方のリスクが考えられるものの、景気は底を打ったとみられる。資本財の輸出については引き続き慎重にみているが、消費財等の需要については、当面は回復が見込まれる。

ただし、トランプ大統領が TPP からの離脱や NAFTA の再交渉・脱退を表明するなど、米国の通商政策が保護貿易主義に転じる可能性がある点が、先行きのリスク要因として挙げられよう。特に、トランプ大統領が日本の自動車貿易について「不公平だ」と主張している点が危惧される。仮に日米貿易摩擦問題が表面化するようなこととなれば、日本の輸出産業は打撃を受ける可能性がある。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



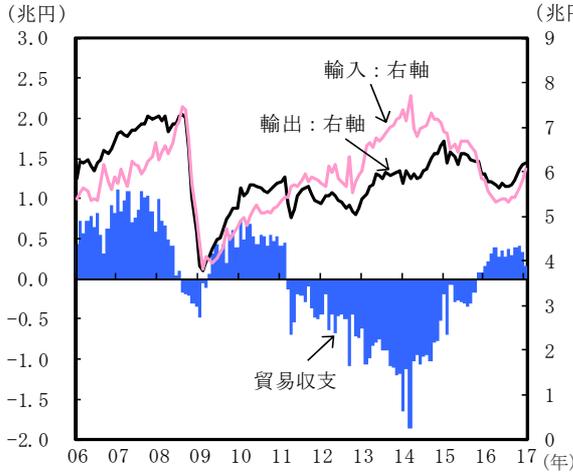
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

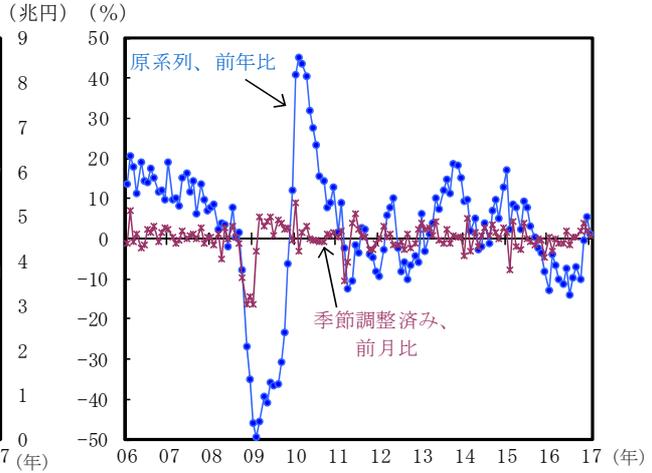
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

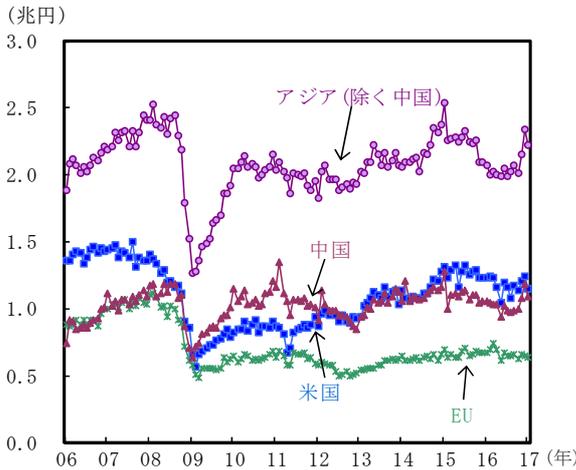


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

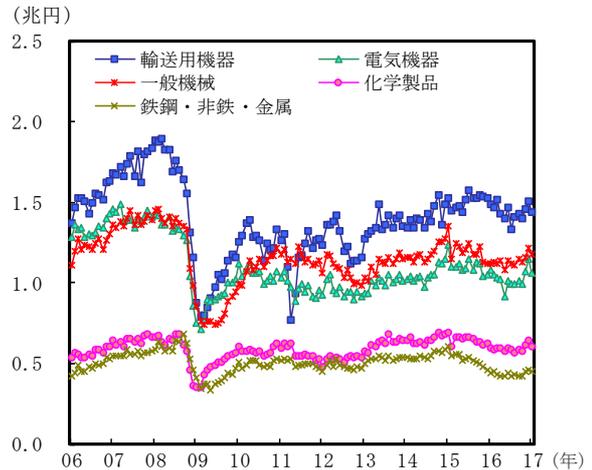


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

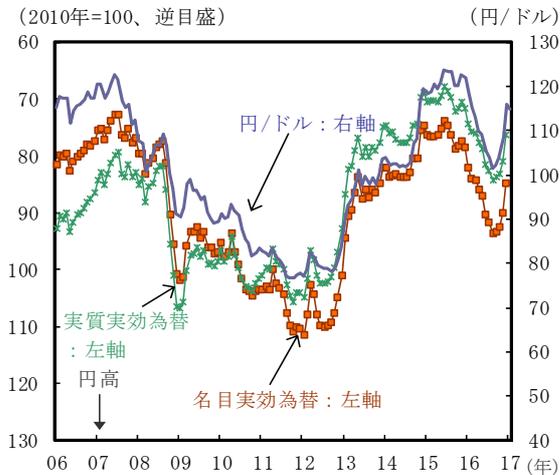


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

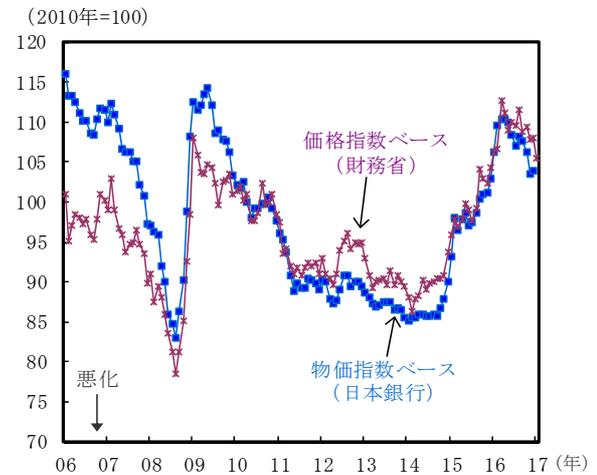


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.6	▲6.9	▲10.3	▲0.4	5.4	1.3	100.0	1.3
食料品	▲6.9	7.6	▲3.8	3.4	5.2	▲15.6	0.7	▲0.1
原料品	▲23.3	▲19.6	▲25.2	▲2.4	12.5	15.4	1.5	0.2
鉱物性燃料	▲26.9	▲34.0	▲33.2	▲19.6	17.8	52.3	2.1	0.7
化学製品	▲12.2	▲7.2	▲9.5	0.5	4.0	1.5	11.0	0.2
原料別製品	▲17.0	▲13.3	▲15.2	▲6.4	▲1.1	▲0.8	11.0	▲0.1
鉄鋼	▲20.4	▲20.9	▲19.3	▲12.1	▲4.8	8.1	4.6	0.3
非鉄金属	▲19.8	▲12.8	▲8.4	5.8	13.3	▲1.2	1.7	▲0.0
金属製品	▲8.1	▲6.4	▲14.0	▲1.9	▲0.6	▲7.4	1.5	▲0.1
一般機械	▲6.1	▲2.1	▲7.9	2.9	8.9	5.2	18.6	0.9
電気機器	▲8.5	▲9.9	▲10.9	3.2	9.2	▲1.1	17.0	▲0.2
半導体等電子部品	▲12.3	▲11.8	▲7.1	6.5	14.9	3.1	5.4	0.2
I C	▲13.2	▲13.7	▲5.9	10.0	22.5	8.4	3.8	0.3
映像記録・再生機器	4.1	▲8.5	▲18.6	▲3.2	21.1	1.5	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲16.3	▲26.1	▲20.8	▲2.0	27.1	▲10.2	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	▲1.0	5.8	0.1	9.6	18.0	8.7	2.5	0.2
輸送用機器	▲8.4	▲6.0	▲9.0	▲4.6	▲0.6	▲3.5	25.0	▲0.9
自動車	▲9.4	▲7.2	▲11.3	▲8.5	▲4.7	▲6.7	14.9	▲1.1
自動車の部分品	0.1	2.9	▲0.9	10.4	16.5	12.5	4.8	0.5
その他	▲4.8	▲1.0	▲7.2	5.4	11.7	5.1	13.2	0.6
科学光学機器	▲15.8	▲9.7	▲11.8	▲6.6	2.7	3.5	3.0	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲14.5	▲8.7	▲11.2	▲1.8	1.3	▲6.6	100.0	▲6.6
食料品	▲9.5	▲0.5	▲9.0	6.4	5.4	▲1.3	0.6	▲0.0
原料品	▲41.9	▲44.6	▲35.5	▲24.4	8.0	▲9.1	0.4	▲0.0
鉱物性燃料	9.2	10.0	22.7	46.6	155.4	580.4	0.3	0.2
化学製品	▲12.9	▲20.8	▲13.4	▲12.4	▲1.3	▲3.7	6.3	▲0.2
原料別製品	▲22.0	▲12.7	▲23.3	▲12.1	▲8.9	▲9.1	6.2	▲0.6
鉄鋼	▲33.8	▲23.1	▲40.2	▲36.6	▲27.3	▲10.9	1.3	▲0.2
非鉄金属	▲12.4	▲8.5	▲8.5	1.0	8.1	5.7	0.6	0.0
金属製品	▲15.7	▲7.4	▲10.5	7.4	8.0	▲6.7	1.7	▲0.1
一般機械	▲16.3	▲5.9	▲11.6	▲5.2	▲2.0	▲4.0	22.3	▲0.9
電気機器	▲13.0	▲15.3	▲11.1	▲2.2	▲1.0	▲7.9	13.9	▲1.1
半導体等電子部品	▲13.3	▲22.4	▲16.4	▲12.5	▲12.6	▲19.4	1.8	▲0.4
I C	▲13.3	▲20.8	▲15.4	▲2.7	▲6.9	▲13.8	0.9	▲0.1
映像記録・再生機器	▲7.7	▲25.9	▲27.0	▲21.8	28.3	▲3.5	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲41.0	5.5	15.4	▲3.3	27.5	▲8.2	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲2.2	1.7	▲0.5	2.5	▲1.6	▲9.0	1.5	▲0.1
輸送用機器	▲11.7	▲6.4	▲6.1	6.1	7.7	▲8.4	40.4	▲3.5
自動車	▲11.4	▲7.3	▲2.7	10.0	9.7	▲10.1	29.9	▲3.1
自動車の部分品	▲5.8	10.6	▲9.2	9.4	22.8	2.9	6.2	0.2
その他	▲17.0	▲3.5	▲21.4	▲16.1	▲7.7	▲5.6	9.7	▲0.5
科学光学機器	▲18.7	▲11.2	▲15.0	▲12.9	9.3	▲4.1	2.0	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.7	0.7	▲9.5	▲2.2	▲4.0	▲5.6	100.0	▲5.6
食料品	▲16.1	7.0	▲4.2	▲29.0	6.8	0.5	0.3	0.0
原料品	▲11.0	0.6	▲34.3	▲2.6	▲8.2	▲10.3	1.0	▲0.1
鉱物性燃料	▲8.5	24.1	▲51.9	379.4	15.8	679.9	0.5	0.4
化学製品	▲16.7	▲6.9	▲12.8	▲6.5	▲8.6	▲5.2	9.6	▲0.5
原料別製品	▲7.5	▲15.1	▲20.1	▲25.2	▲17.5	▲19.8	6.3	▲1.5
鉄鋼	14.3	▲42.7	▲44.8	▲67.0	▲57.4	▲54.1	0.8	▲0.9
非鉄金属	▲21.3	▲17.4	▲21.2	▲24.8	▲16.7	11.4	0.8	0.1
金属製品	▲0.7	▲9.3	▲10.0	▲18.1	▲5.5	▲10.9	1.3	▲0.2
一般機械	▲7.7	▲7.4	▲15.4	▲9.0	8.4	0.1	23.8	0.0
電気機器	▲8.4	▲4.4	▲16.1	▲2.2	▲4.4	▲4.9	18.0	▲0.9
半導体等電子部品	▲15.1	▲1.5	▲14.0	▲8.2	▲3.0	▲13.4	2.5	▲0.4
I C	▲12.5	▲5.1	▲17.0	▲14.0	7.5	▲11.7	1.4	▲0.2
映像記録・再生機器	▲9.6	▲7.5	▲34.5	▲21.6	▲0.1	7.2	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	▲1.1	▲34.7	▲20.5	12.1	▲47.8	▲61.0	0.2	▲0.3
電気回路等の機器	▲11.9	▲0.3	▲8.7	▲6.9	▲7.4	▲3.6	1.8	▲0.1
輸送用機器	15.0	2.8	2.2	2.6	▲7.0	▲8.8	27.3	▲2.5
自動車	12.7	3.4	▲6.2	▲13.8	▲18.2	▲12.2	15.1	▲2.0
自動車の部分品	8.9	11.7	▲0.4	10.2	11.3	8.3	5.6	0.4
その他	12.7	30.7	▲0.9	13.3	▲7.3	▲4.2	13.2	▲0.6
科学光学機器	▲17.3	▲10.0	▲11.1	▲6.3	▲6.4	▲7.1	2.9	▲0.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.4	▲8.4	▲9.9	3.4	12.0	6.0	100.0	6.0
食料品	▲3.8	13.7	▲0.8	5.3	3.3	▲22.9	0.9	▲0.3
原料品	▲20.0	▲16.9	▲22.3	1.4	20.6	23.0	2.3	0.5
鉱物性燃料	▲22.9	▲35.7	▲42.7	▲41.7	10.8	24.5	2.5	0.5
化学製品	▲11.6	▲4.6	▲7.8	4.1	7.3	4.5	15.3	0.7
原料別製品	▲15.3	▲12.7	▲12.9	▲2.2	2.1	3.1	14.2	0.5
鉄鋼	▲17.6	▲19.9	▲17.0	▲6.5	0.5	15.6	6.5	0.9
非鉄金属	▲20.5	▲12.6	▲7.6	7.4	15.4	▲3.2	2.8	▲0.1
金属製品	▲3.9	▲5.5	▲14.5	0.7	▲4.2	▲5.4	1.5	▲0.1
一般機械	▲1.7	2.0	▲3.5	8.0	17.2	10.9	17.7	1.9
電気機器	▲7.8	▲9.3	▲10.2	5.2	15.8	1.2	21.4	0.3
半導体等電子部品	▲12.2	▲11.6	▲5.8	9.5	19.2	6.5	8.9	0.6
I C	▲13.2	▲13.7	▲4.8	12.3	25.4	11.0	6.5	0.7
映像記録・再生機器	29.3	6.0	▲2.7	16.2	27.3	▲2.7	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲25.0	▲18.9	▲20.3	▲3.7	60.0	▲2.8	0.5	▲0.0
電気回路等の機器	1.3	10.6	2.0	14.7	25.7	11.8	3.4	0.4
輸送用機器	▲6.2	▲14.3	▲9.9	5.8	11.8	10.4	9.4	0.9
自動車	▲12.1	▲9.2	▲16.0	▲4.9	1.2	▲4.0	3.6	▲0.2
自動車の部分品	3.9	3.9	5.6	13.9	17.4	17.5	3.7	0.6
その他	▲11.6	▲10.4	▲11.0	4.2	14.3	6.7	16.3	1.1
科学光学機器	▲15.1	▲9.6	▲11.7	▲6.1	3.1	10.4	4.2	0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/08	2016/09	2016/10	2016/11	2016/12	2017/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.8	▲10.6	▲9.2	4.4	12.4	3.1	100.0	3.1
食料品	47.6	43.7	33.5	28.1	11.9	▲17.2	0.3	▲0.1
原料品	▲21.1	▲23.3	▲25.0	7.1	30.3	19.6	3.4	0.6
鉱物性燃料	48.6	28.8	▲7.2	4.8	101.5	67.9	1.4	0.6
化学製品	▲15.2	▲9.8	▲5.2	9.2	13.4	2.4	17.0	0.4
原料別製品	▲15.4	▲7.5	▲12.6	2.9	6.7	▲8.0	11.7	▲1.0
鉄鋼	▲15.7	▲11.7	▲20.1	▲7.9	2.8	3.6	4.2	0.2
非鉄金属	▲24.4	▲16.9	▲5.4	23.6	37.3	▲22.5	2.4	▲0.7
金属製品	▲5.4	0.0	▲13.0	5.6	▲6.1	▲3.6	1.7	▲0.1
一般機械	▲7.1	▲7.4	▲6.4	14.8	13.8	10.0	18.9	1.8
電気機器	▲2.0	▲13.7	▲14.6	1.1	15.5	▲3.6	23.1	▲0.9
半導体等電子部品	▲5.6	▲16.5	▲5.9	▲1.4	10.1	0.4	8.2	0.0
I C	▲4.9	▲21.2	▲6.5	▲4.7	10.1	1.9	6.0	0.1
映像記録・再生機器	182.8	10.5	▲4.8	48.8	45.8	▲23.7	0.7	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲35.5	▲33.0	▲31.9	▲14.5	49.3	▲11.9	0.8	▲0.1
電気回路等の機器	5.9	20.6	6.1	30.5	38.2	5.9	3.7	0.2
輸送用機器	▲0.5	▲1.7	0.7	13.5	22.3	18.6	9.2	1.5
自動車	▲4.6	▲15.9	▲11.4	4.7	6.7	0.1	3.4	0.0
自動車の部分品	4.4	14.1	13.4	23.1	38.2	40.1	5.8	1.7
その他	▲15.5	▲17.5	▲9.5	▲12.5	▲2.3	2.0	15.0	0.3
科学光学機器	▲20.3	▲14.7	▲11.2	▲12.7	▲0.9	6.3	7.1	0.4

(出所) 財務省統計より大和総研作成